

## 『備えをせよ！』創世記 6章5～22節 2019.3.3 聖日礼拝説教より

『…あなたがたは、やがて起ころうとしているこれらすべてのことからのがれ、人の子の前に立つことができるように、いつも油断せずに祈っていなさい。』 ルカの福音書 21 章 36 節

あなたは、神の裁き(世の終わり・自分の死)への備えがあるか？(ヘブル 9:27)。罪人には2種類の生き方「カインの末裔／セツの末裔」がある。罪に引きずられて滅びるか、罪深さを知る故に心砕かれ、謙って神と共に歩むか。ノアは謙虚に正しく生きた(6:9)。

**①正しい大人の信仰**…世に罪が満ちて墮落する(6:5-12)のは、その心の用い方が問題。『(6:5)思い計る』とは『作品』の意。良い思いがあれば、良い作品(言葉・態度・人柄)が出来、悪いイメージがあれば、悪い人生に！「ノアは神と共に歩んだ(6:8-9)」。彼は第一に、自分の思いを常に神の物差しに正され、その時代の罪(考え)に流されなかった。第二に、『全き(ターミーム:大人)』として、耳に痛いことも謙虚に聞き、御心に従い、嫌なこと、損することでも即実行！この世は創り主を信じず、そのご計画も、その御愛も救いも知らず、自分の願望が最優先。私たちは、神の御心に従うし幸せに生きる「成熟した大人」でありたい！

**②単純・素直な信仰(6:13-22)**…ヘブル 11:7 のように神のご計画をただ信じ従ったノアは、不信仰な世で輝いた。ノアとその家族だけは、差し迫っている神の審きに対して備えた(⇒6:22)」。彼は洪水(神の審き)が来ると聞かされ、そのまま信じた。私たちは「最後の審判、キリストの再臨」を本気で信じているか？ノアは神の指示通りの船を造った。この世では、「前例がない」と経験が、「難しい」と常識が、「不可能だ」と理性が言う。しかし私たちは「神には出来る」と信じて実行する。あなたは御言葉をそのまま信じて素直に従うか？やがて世の終わりが来る⇒ルカ 21:36。

**③痛み(溜息)から慰め(救い)へ**…人の罪故に神の悲しみは頂点に。しかし「悔やむ(ナ-ハム・6:6)」は「慰め、憐れむ」の意も。神は心を痛めつつも人を憐れみ「救い」を備えられる。「内と外を木のやにで塗りなさい(6:14)」。この『やに』は『贖う』の意も。神の贖いで、あなたの罪の破れを覆い、この世に 溢れる罪の大洪水が、あなたの心に一滴も入らぬよう、心の内と外を贖いで覆えと。

★あなたは罪の大洪水に溺れ、神を悲しませる思いが心に流れ込み、世に流されてないか。全世界を飲み込み、暗闇へ引きずり込む大波(引き潮)が来る！十字架の救いを信じ、神の審きに備え、人々を引き連れて信仰の高台に登り、神の驚くべき救いの事実を共に見届けたい！